

10th ANNIVERSARY

こころ えがお せかい
心つながり 笑顔ひろがり 世界へはばたく



がっこう
学校だより

よこはましりついいだきた しょうがっこう
横浜市立飯田北いちよう小学校

れいわ ねんど がっこう
令和5年度 1月号

れいわ ねん がつこのかはっこう
令和6年1月9日発行

たつとし りゅう おおぞら か めぐ いちねん
「辰年」 竜のように大空を翔け巡る一年に

「Năm Thìn」 ước mong là một năm bay lượn cao trên trời xanh như con rồng
辰龙年！希望是可以像蛟龙一样在天空中翱翔的一年！

こうちょう さいとう ようじ
校長 齋藤 容二

れいわ ねん (2024年) が始まりました。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

今年の干支は「辰」です。元々は方角を表していたものにそれぞれ生き物を当て、「辰」は竜（龍）が当てられたとも言われています。竜は、十二支の中ではただ一つだけの想像上の生き物ですが、古くから人々にとってかわりの深い存在であったようです。そこで、竜につながることを調べてみました。（ウィキペディアより引用）

中国では昔、竜は皇帝の象徴（シンボル）として使われていたとあり、縁起のよい生き物であるとされてきました。日本では、初期の神話にも登場し、国造りの過程において重要な神として書かれています。その後、広い地域で竜神として、水の神として考えられてきました。空を飛んで雲を起し、雨を呼ぶ力があると言われていいます。神社には、手を清める手水舎に竜の姿をした水口（水が出る口）があるのも、水とのつながりのようです。



ほんこうじほんどう りゅう ちょうこく
本興寺本堂にある竜の彫刻

寺でも竜の姿を見ることができます。学区にある本興寺の本堂にも、竜の姿の彫刻がありました。仏教においては、竜は仏法や信仰する人を守る存在、恵みの雨をもたらす存在であるとのこと。

言葉にも使われています。「竜巻」「登竜門」「恐竜」。目上の人を怒らせてしまうことのとえとして「逆鱗に触れる」と言いますが、この「逆鱗」とは、竜のあごの下に逆さに生えた鱗のことで、そこに触れると竜が怒るといふ伝説からきています。



物語には「りゅうのめのなみだ」「たつのこたろう」などがあり、竜は心温まる存在として描かれています。ほかにもあるので、探したり学校司書に聞いたりしてみてください。

植物には「リュウノヒゲ」があり、学校にも生えていることを学校用務員に教わりました。学校のリュウノヒゲ

大きく強く、畏れの感じられる存在でありながら、身近にあり、人々にとって頼りになる、心優しい存在のようにも感じます。古くから受け継がれてきた人々の竜への思いを受け止めるとともに、自然や人々を守り、大空を翔け巡るその姿を想像し、今年が全ての人にとってさらなる飛躍の年となることを願ひたいと思います。

お知らせとお願ひ ボランティア参加については、担任または副校長までご連絡ください。 学校電話：802-3441

学校ホームページ更新中
日々の子どもたちの様子を載せています。ご覧ください。

登下校見守りボランティア(学援隊)募集中
毎日だけでなくもよいので、ご協力いただける方を募集しています。